

「酒田港を利用して物流コストを約1割削減！」 ～ 市内印刷会社の事例 ～

酒田市京田西工業団地に立地する印刷会社が、新たにドイツから印刷機械をコンテナで輸入するにあたって酒田港を利用したことにより、物流コストを約1割削減しました。

この度の輸入に際し、酒田港国際ターミナルにおいてコンテナを船から積卸す状況を、下記の通りマスコミの方に取材いただくとともに、酒田港利用による物流コスト削減の好事例として情報提供いたします。

記

●日時

平成29年3月1日（水） 8：00着岸予定
（本船の中で最初に荷卸しを予定）

●場所

酒田港国際ターミナル内（酒田市高砂232）

●取材申込み

取材を希望される場合は、2月28日（火）15時までに、以下の問い合わせ先に連絡し、集合場所等を確認願います。

●その他

コンテナ船の運航状況により、日時が変更されることがあります。その場合は、申込みいただいた方へ連絡いたします。

●詳細は別紙のとおり

〈発表記者會：酒田記者クラブ〉

【問い合わせ先】

国土交通省 東北地方整備局 酒田港湾事務所
電話：0234（33）6314 企画調整課 鮎貝（あゆがい）
土門

酒田港を利用した印刷機械輸入について

- 荷主 : コマツ・コーポレーション 株式会社 小松写真印刷
- 輸入品 : WINDMOELLER & HOELSCHER 社 フレキシソ印刷機 1 式
- 荷姿 : 40ft コンテナ 7 個、フラットラックコンテナ 3 個
- 船名 : OSAKA VOYAGER (長錦商船株式会社)
- 船舶代理店 : 酒田海陸運送株式会社
- 輸入経路

平成 29 年 1 月 3 日 ハンブルク港 (ドイツ) 発
↓ (船名 : OOCL BERLIN)
2 月 9 日 釜山港 (韓国) 着
2 月 27 日 釜山港 (韓国) 発
↓ (船名 : OSAKA VOYAGER)
3 月 1 日 酒田港 着 (予定)

【問い合わせ先】

○ 取材について

国土交通省 東北地方整備局 酒田港湾事務所 企画調整課
電話 : 0234 (33) 6314 鮎貝 (あゆがい)、土門

○ 印刷工場について

コマツ・コーポレーション 株式会社小松写真印刷
電話 : 0234 (41) 0011 佐藤 泉

○ コンテナ荷役について

酒田海陸運送株式会社
電話 : 0234 (22) 1801 菅原 純一